

令和4年度 第5回府中市環境審議会会議録（要旨）

令和5年3月22日（水）

午後6時00分から午後7時30分まで
府中市役所北庁舎3階第1・第2会議室

■出席委員（17名）

対面 榎本弘行委員（会長）、表伸一郎委員（副会長）、山田義夫委員、安部貞司委員、栗原昭良委員、嶋原國夫委員、吉武考三郎委員、小西信生委員、吉川正人委員、平崎崇史委員、三浦健仁委員、河村幸子委員、金本敦志委員、成瀬こずえ委員、山村憲太郎委員

リモート 澤佳成委員、青山一彦委員

■欠席委員（3名）

金子弥生委員、高野茂久委員、江島大介委員

■事務局

新藤生活環境部長、田中環境政策課長、扇山環境政策課長補佐、田口環境政策課副主幹、白木環境政策課自然保護係長、谷口、越智、中澤

■傍聴者

1名

1 開会

2 議題

第2次府中市環境基本計画（環境行動指針）及び府中市地球温暖化対策地域推進計画
中間見直し後の進捗状況について

3 その他

4 閉会

■配布資料

資料1 第4回府中市環境審議会のご意見一覧について

資料2 第2次府中市環境基本計画 環境行動指針の進捗状況

資料3 第2次府中市環境基本計画及び府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について（答申）案

■会議録（要旨）

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまから、令和4年度第5回府中市環境審議会を開催させていただきます。

本日は大変お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
本日の会議につきましても、会場とウェブ会議システムを併用しての開催とさせていただいております。

ウェブ会議でご参加いただく方へ、改めてのお願いとはなりますが、注意事項をご説明いたします。

1点目に、音声の混線を避けるため、発言される時を除き、音声についてはミュート状態にしてください。

2点目に、ビデオについては通信環境の確保のため、オフとしてください。

3点目に、発言をする際は、ミュートボタンをオフにし、氏名を名乗っていただき、会長又は事務局より指名がございましたら、その後ご発言ください。

また、ウェブからご参加されている委員の方に発言者が分かるよう、マイクを渡す前に事務局から委員のお名前を呼んでご案内させていただきます。委員の皆様におかれましては、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、会議に入ります前に、お手元にお配りさせていただきました資料の確認をさせていただきます。

（配布資料の説明）

以上の資料を配布させていただきましたが、過不足等はございませんでしょうか。

また、本日お配りしておりませんが、皆様には、1月27日に実施した第4回環境審議会本会の会議録を送付しました。修正のご連絡をいただいた方の部分につきましては既に修正しておりますが、それ以外の部分で問題がなければ、府中市環境審議会規則第5条第4項に基づき情報公開室やホームページで公開したいと存じますが、いかがでしょうか。

（異議なしの声あり）

なお、公開に際しましては、皆様のお名前は伏せさせていただきます。

それでは、本日の会議に、3名の委員からやむを得ない事情で欠席の連絡を受けておりますので、ご報告させていただきます。また、委員につきましては15分程度遅れるというご連絡をいただいております。委員についてはこちらにいらしていませんが、現在確認をとっております。

それでは、ここからの議事は会長、よろしくお願いいたします。

【会長】

皆様お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。ここからの議事は私が進行させていただきます。

議事に入る前に委員の皆様申し上げます。新型コロナウイルス感染症の再拡大防止のため、発言は5分程度で簡潔明瞭を心掛け、会議に要する時間の短縮にご協力くださ

いますようお願いいたします。

初めに、傍聴人について委員の皆様にお諮りします。府中市情報公開条例に基づき原則公開となっております。傍聴人はいますか。

【事務局】

本日の傍聴人は1名です。

【会長】

委員の皆さん、入室を許可してもよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

そうしましたら、入室を許可します。

それでは、今日の次第に従って進めていきたいと思えます。まず、次第「2 議題」ということで、「第2次府中市環境基本計画（環境行動指針）及び府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について」です。事務局より説明をお願いします。

(資料1～3を説明)

【会長】

事務局から説明がありました。何かご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。既にもらっている質問等についての回答は資料1に記載したとおりの対応をしております。何かありますでしょうか。委員。

【委員】

資料2の項番39と40について質問です。太陽光発電システム等を入れますと書いてあります。これは令和3年度の話で、令和4年度に導入予定と書いてあります。これはもう終わっている話ですか。

それから、太陽光発電システムについては、今までの府中市は、パネルだけ入れてバッテリーは全然付けないで、そのまま100%東京電力さんを買ってもらうようなやり方をとっています。いざ停電というか大規模なことが起きたときは「想定外ですから」というふうになっています。次年度の太陽光発電システム導入についても、やはりそういうことでしょうかというのが質問の第1です。

もう一つは、新型コロナウイルス感染症対策についてです。今私たちは、ほぼ密室のところで会議をしています。各自の判断でマスクはしなくてもいいということになっているのですか。屋外でも密室でもマスクなしで大丈夫か確認したいです。

【会長】

公立の小中学校の太陽光発電もしくは太陽熱利用に関して一つ質問がありました。あ

とは、マスクはどういう基準に基づいているのかということです。事務局、どうでしょうか。

【事務局】

まず1点目の質問でございますが、八小と一中への太陽光発電システムについては、現在導入をされていると伺っています。併せて蓄電池システムも導入をしていると伺っています。

コロナのマスク着用の件でございますが、国の新型コロナウイルス対策の中で3月13日から各自の判断が基本になっていますが、市として市民の皆さんに強制するものではないですが、会場や密集度の状況で職員からマスクの着用をお願いをすることは許容されている部分もございますので、マスクを着用いただいているところでございます。

【会長】

委員、よろしいですか。

【委員】

それは一般基準ですが、今日はマスクをしなくてもいいのですか。

【事務局】

失礼しました。今日は皆さんに求めているものではございませんので、各自の判断で大丈夫です。

【委員】

ありがとうございます。

【会長】

ほかにご意見、ご質問はありますか。委員。

【委員】

意見でも質問でもありませんが、資料2の表は、これで私は了解はしますが、前回は発言しましたが、多分私の説明がまずかったのだらうと思いますが、趣旨が伝わっていませんでした。

2と10は同じ「通水」としてはいますが、「通水」ということではなくて、公園緑地と一体となった景観等を行動指針では挙げているのですよね。

2の目標は「……通水の検証」となっていて、取組の概要等は「……通水の状況を確認し……」となっていて、水を通せば景観がよくなるようなことばかり書いてあります。10は「……景観の保全、親水性の向上に努めていく」となっていて、同じ内容のことを公園緑地課は挙げているのだらうと思います。今後どういうふうに実施していくかというようなことを述べないといけないのではないのでしょうかとい

うのが前回の私の発言でした。

今年度は素案のようにまとめるということで、私は別段意見はないですが、暗渠のところもあれば開渠のところもある。水が通っているところ、通っていないところ様々あるわけです。景観の保全や親水性を行動指針として挙げているのであれば、取組の概要等のところに今後のことも書くということになっているのであれば、そういうことも少し述べたほうがいいのではないですか。水を通せば景観がよくなるというわけではなくて、暗渠はどうするのですか。様々あるわけですので、そういうことを私は前回述べたわけです。

私の説明がよくなかったのか趣旨が伝わっていません。「通水の検証」とだけ書いてありますが、水を通せばいいというものではないと思いますので、庁議なり何かの機会に、課長なり部長から申し送りをしていただければと思います。

【会長】

親水路の通年通水についての発言でした。今回の進捗状況については、この「取組の概要等」欄でよろしいでしょうか。

【事務局】

委員のご意見につきましては担当課に伝えさせていただきます。

今考えているのは、暗渠を改めて開渠にして、こういう場をつくり出すというよりは、現在開渠としている生物多様性の場となるような場所や親水公園等で皆さんが親しんでいただけるような場に通水をすることで活用を図かるということで考えています。

【会長】

ありがとうございます。委員、よろしいでしょうか。

【委員】

話す機会があったら、こういう意見がありましたよということを申し送っていただければと思います。

【会長】

そのほかにありますでしょうか。委員。

【委員】

先ほど委員が言われたので、私も読んでみて、こう書いたほうがいいのではないかと思ったのですが、39、40、41の取組の概要等のところは「本年度、導入予定校はなし」となっています。本年度というのは令和3年度のことを言っているのであれば、令和3年度はだいぶ前に過ぎているので、39、40、41は「令和3年度、導入（予定）校なし」に統一してもいいのではないかと思います。

【会長】

事務局、いかがですか。

【事務局】

令和3年度の取組状況ということで「本年度」と記載していますが、少しわかりづらいところがありますので、このほかに全体を見直して、あいまいな表現がないか等を確認して、最後に適切に修正してまいりたいと思います。

【会長】

ほかにご意見等がありますでしょうか。委員。

【委員】

答申案の2ページ目に「レジリエントなまちづくり」と書いてありますが、今や常識用語ということでよろしいでしょうか。市長に答申するわけだから、このくらいの言葉でいいのかもしれませんが、あいまいで人によって様々な受け取り方があるのではないかと思います。国連で決まっている言葉だからそのままいいということでしょうか。お伺いします。

【会長】

事務局、いかがですか。

【事務局】

「レジリエント」は一般的な表現になっているところですが、一方でわかりづらいというご意見もあるということで、「防災力の強化」や「強靱なまちづくり」等の日本語訳の表現に、皆さんからご意見をいただいて修正することも可能ですので、ご意見をいただければと思います。

【会長】

なじみのない人もいますので、括弧等で併記してはいかがでしょうか。

【委員】

市長に答申するので一般市民対象ではないですね。「強靱」というとまた意味が違ってくると思います。市長は読み取れると思います。

【会長】

「レジリエント」は市長はわかると思います。そのまま訳すと「回復力」です。事務局、いかがでしょう。

【事務局】

市長に答申ということで、「レジリエント」についてはわれわれも説明をしていると

ころでございますので、市長はご理解されていると認識しております。

【会長】
委員。

【委員】
括弧で和訳を記載するか、和訳のあとに「レジリエント」とすれば、解釈が人によって違うということにはならないのではないかと思います。

【会長】
答申は市長に対して出すので、市長がわからないということはないと思います。

【事務局】
「レジリエント」という言葉につきましては、今ご意見をいただきましたので、最終的に会長と調整して表現を検討してまいりたいと思います。

【会長】
委員、いかがですか。大丈夫ですか。ほかにご意見は。委員。

【委員】
先ほど質問をさせていただいたところの追加です。蓄電池を入れるというのは、今まで府中市は、学校は全く実施してこなかったと理解しています。初めて蓄電池システムを導入することになったのであれば、計画に記載することが一番いいと思います。

これから小中学校全33校を改装して太陽光パネルを付けると言っています。当初ヒアリングをしたときは、太陽光パネルは付けるけれども蓄電池を置く場所はありませんと言われていました。今は、蓄電池も付けていますということですから、前進ではあると思います。

蓄電池システムの導入を表現するのは令和3年度の報告の中でいいのか、それとも令和4年度の報告に入れるのかは別にしても、記載すれば、「今後、うちの小学校がやるときにはちゃんとバッテリーも入って、いざというときにはある程度はカバーしてもらえるのかな」と思ってもらえます。今のところPRをほとんど何もしてない状態ですから、ぜひとも府中市環境基本計画への記載も含めてどこかでPRをしていただくのがいいのかなと思います。

もう一つは、先ほど通年通水のところでご意見がありましたが、実は、私ども府中かんきょう市民の会が今受託させていただいている市川用水と称する部分は、かつては通年通水をやるため電気でのバッテリーで水をポンプアップして回すような仕組みを持っていました。しかし、12年前の東日本大震災のときに、「計画停電をやらなければいけないときに通年通水でもないでしょう。優先順位が違うでしょう」ということでとめて、12年間ほったらかしにしています。誰もチェックしていませんが、多分、中はさびついて使い物にならなくなっている状況です。対応について担当課と話していると、

「そんなこと言わないでください。予算も何もありません」ということですが、資料2を見ると夢も希望も持ってもいいのかなと思ってしまいます。その辺はどうですか。

【会長】

事務局、いかがでしょうか。

【事務局】

まず、1点目の太陽光発電システムと蓄電池システムにつきましては、令和3年度導入予定校はなしということですが、令和3年度に計画はしていたというところはあると思いますので、表現を考えて、「導入の検討はした」等、令和3年度の実績として載せられるのではないかと考えております。

実績については、次の令和4年度の実績に載ってくるものなのかと思っています。目標の内容と、蓄電池システム等の内容は整合を考えて、どこにどういうふうに載せるか、来年度の結果に載せるかどうかも含めて検討していきたいと思います。

【事務局】

通年通水の件は、次期計画の中でも通年通水について記載させていただいていると思いますが、確かにご指摘のとおり、ポンプを動かしてないと、おそらく交換しない限り動かないものと思います。

ただ、全く考えがないということではないので、財政的な課題はありますけれども、ポンプの再稼働等、通年通水の復活を視野に入れて進めていきたいという考え方です。実現にはまだクリアしなければいけない課題はたくさんあるかと思いますが、今申し上げた方向性といったところでご理解いただければと思います。

【委員】

何かほかに、道具を使わないでやるような仕掛けを考えられたらお金もあまりかからずにできるのではないのでしょうか。12年前に戻せというと、機械は交換しなければならぬし、電気代も今は馬鹿にならない。去年と比べると倍ぐらいになっていて、どう捻出するかみんなわあわあ言うてくるでしょう。ぜひとも具体的な裏打ちがあるような計画にさせていただければうれしいという願望です。よろしく願いいたします。

【会長】

そのほかにご意見、質問はありますでしょうか。

委員の皆様、ご意見を多くいただきましてありがとうございます。ただいまいただきましたご意見の反映については会長と副会長に一任させていただいて、事務局と最終調整を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【会長】

ありがとうございます。本日の議題については以上になります。
その他ですが、事務局から何かありますか。

【事務局】

委員の皆様は任期は本年4月までとなりますが、任期内の審議会は本日で最後になりますことから、最後に生活環境部長からご挨拶申し上げます。

(生活環境部長挨拶)

今回が最後となりますので、委員の皆様にもひと言ずつご挨拶をいただければと存じます。

(委員挨拶)

委員の皆様大変ありがとうございました。部会も含めてかなり多くの審議会を開催させていただきました。皆様からいろいろなご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。こうして皆様がいい計画ができたとおっしゃっていただいて、事務局もうれしい限りでございます。

皆様からお話でしたが、この計画がゴールではなくこれからスタートというところで、行政としてこれをいかに達成していくかという今後の行動が一番大切になってくるかと思っております。これは自治体だけで進めることは難しいところですので、今後も皆様とのご協力のもといろいろな方と協働して進めてまいりたいと思っておりますので、今後とも引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

2年間にわたるご審議、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

終了